

# 大学の世界展開力強化事業 H26取組概要 慶應義塾大学

## 【構想の名称】(選定年度23年度(タイプB-Ⅱ))

グローバルエンジニア育成のための欧州理工系大学との連携プログラムの構築

## 【プログラムの目的・養成する人材像】

理工系高等教育における国際的な協同事業へ主体的に参画することで、多彩な教育プログラムを学生に提供し、言語や文化の違いを乗り越えてグローバルな感覚を持ち国際的に活躍するエンジニアの育成をめざす。

## 【構想の概要】

EU圏の理工系高等教育機関との連携により、グローバルな視野を持ち世界共通の問題解決へ向けて活動のできるエンジニアを育成する。修士課程におけるダブルディグリー(DD)プログラムの展開、博士課程学生の共同指導を通じた国際的協同事業の展開、学部学生等に対する導入プログラムの提供ならびに予備課程の整備等を通じて、キャンパスにグローバルな感覚を醸成するような環境を整備することを目標とする。

## ■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

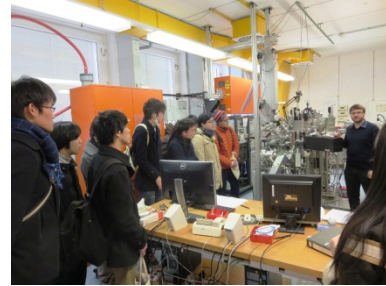
〈授業風景〉

### ○ 修士課程におけるダブルディグリープログラムの展開

協定校の拡大に努め、協定校である欧州理工系大学(T.I.M.E. Association 加盟大学)との相互教員派遣を行い、留学生受入面接の実施ならびに担当者との授業の取組や留学生の受入に関する打合せを重ねた結果、学生交換が活性化し実績が目標を上回った。

### ○ 博士課程学生の共同指導を通じた国際的協同事業の展開

世界著名大学との教員相互派遣を通じ、双方の学生の共同研究指導について学内関係者で共有することが出来た。また、共同指導をきっかけに、博士課程DDプログラム展開への議論が活性化し、今後の連携強化に向けた布石となった。



## ■ 実施した交流プログラムの概要、今後の開始に向けた準備状況

〈授業風景〉



### ○ 学部生を対象とした導入プログラムの提供ならびに準備課程の整備

大学院でのDDプログラム参加の準備として、学部学生向けに複数の短期研修を用意し、学部学生176名を派遣した。また、グローバルリーダーシップセミナー(原案名「国際人材育成セミナー」)の海外実地研修を学部学生1・2年生を対象に行うことで、より早い時期からグローバルな視野を持つ場を提供した。

### ○ 協定校学生に対する日本留学紹介プログラムの実行

夏季休校期間にDDプログラム協定校の本学に入学する大学院正規留学生を対象にした日本語サマースクールを開講し、日本語学習の機会を提供すると共に日本文化の紹介の一環としてホームステイや課外活動などを実施した。

## ■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

### ○ 日本人学生の派遣

修士課程DDプログラムによる派遣、博士課程学生の共同指導による派遣、学部学生を対象とした「グローバル人材に向けての学部教育システム」の一環で春季・夏季の海外研修、インターンシップ、サマースクール等を実施し、海外派遣を促進した。

### ○ 外国人留学生の受入れ

DDプログラム、日本語サマースクール、博士課程学生の受入れ、その他の研究研修プログラム等の実施を行い、受入れを強化した。

	H23	H24	H25	H26	H27
学生の派遣	58	162	174	199	200
学生の受入	15	30	65	53	100

注) H23~H26は実績、H27は計画。

## ■ 日本人学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

### ○ 日本人学生の派遣のための環境整備

派遣前に先方での学習内容、語学の準備、渡航手続き等に関してガイダンスを複数回実施するとともに、前年度以前の派遣学生から定期的に送られてくる月例報告書を開示し、多様な情報提供の機会を設けた。またE-Learning教材を揃え、その進捗状況確認やアドバイスを専門指導員が行い、語学に関する学生の自主学習の環境を整えた。

### ○ 外国人学生の受入れのための環境整備

国際標準に合わせた9月入学・修了を取り入れるとともに、留学生専門の学習指導教員をおくなど、日本語能力が科目履修のレベルに達しない留学生でも英語により不自由なく学生生活が送れるよう学内体制を整備した。生活面においては、キャンパスから徒歩圏内に留学生寮を用意し、チューター制度等の整備も行った。

## ■ 構想の実施に伴う大学の国際化の状況 情報の公開・成果の普及

### ○ 他大学への発展、相互交流について

T.I.M.E. Advisory Committee(欧州理工系大学コンソーシアム運営委員会)メンバーとして、平成27年度にT.I.M.E.年次総会を東北大学と共同開催することが決定した。また、総会開催に合わせ、国内他大学およびDD卒業生や企業などを交えたグローバルな社会で活躍するための人脈作りの場を提供するダブルディグリーシンポジウムを計画推進している。